

新規事業採択時評価結果（平成15年度新規事業化箇所）

事業名	一般国道10号 豊前拡幅 自：福岡県豊前市高田 至：大分県下毛郡三光村佐知	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 九州地方整備局
起終点		延長	5.9 km		

事業概要
 一般国道10号は、北九州市を起点とし、大分市、宮崎市を経て、鹿児島市に至る延長約520kmの主要幹線道路であり、東九州の骨格となる重要な路線である。豊前拡幅は、福岡県豊前市から大分県下毛郡三光村に至る延長5.9kmの4車線拡幅事業である。

事業の目的、必要性
 当該区間は、北九州市、大分市を結ぶ幹線道路の一部であり、近年の沿線地域の開発に伴い交通量が増加し、周辺的生活交通にも支障を来しており、早期の対応が必要である。また、福岡県の道路網における東部の南北軸を形成することによる広域的な物流や交流圏拡大に大きく寄与するものである。

全体事業費	60億円		計画交通量	12,600台/日	
費用便益比	B/C	総費用	総便益	基準年	
	1.7	73億円 （事業費：53億円 維持管理費：20億円）	123億円 （走行時間短縮便益：54億円 走行費用減少便益：42億円 交通事故減少便益：27億円）	平成15年	

事業の効果等
 I-(3) 中心市街地の活性化（中心市街地へ至る現道の混雑度1.0以上が改善される）
 IV-(1) 道路防災対策・危機管理の充実（現道の震災点検箇所 3橋）
 その他4項目

関係する地方公共団体等の意見
 豊前拡幅は、交通渋滞の緩和、地域の活性化など重要な役割を果たす道路として期待されており、大平村、新吉富村より早期整備の要望（平成14年10月16日）を受けている。

